

シ。水路ハ全部隧道トスヘク岩盤硬ケレハ掘鑿困難ナル
ヘシ對岸ニ林區署ノ林道アリ

順位一、二六五 芋八重ニ取入口ヲ設ケ左岸ニ取入レ水
路ハ全部隧道トスヘシ附近一帶河岸殆ト屹立シタレハ發
電所位置ハ相當無理ナル所ニ甘セサルヘカラス地勢峻峻
ニシテ岩石堅ケレハ工事困難ナルヘキモ林道アレハ運搬
ハ便ナリ

其ノ他ノ地點 元調査局一、四二六地點ハ水路長ク水量
落差少ケレハ利用困難ナルヘシ

渡川ニ於テ元調査局一、四二七地點ハ取入口ヲ神門ヘ通
スル道路ノ分岐點ヨリ一〇町下流ニ下ケ放水口ハ下渡川
迄下クレハ水路一、三〇〇間許ニテ落差一〇〇尺許ヲ得ヘ
キモ濁水量三〇個ニ滿タサレハ有利ナリトイヒ難シ其ノ
他中渡川附近ノ屈曲部ハ利用シ得ヘシ

第十七章 一瀨川水系

一流域

(一)地形 一瀨川水系ノ流域ハ宮崎縣ノ中部ニ位シ西白
杵郡南部及兒湯郡ノ中部以西ニ跨リ尙南方微ニ宮崎郡ヲ

是等ノ山嶽ハ何レモ高サ三、〇〇〇尺乃至六、〇〇〇尺ア
リ山腹ハ急傾斜ヲナシテ河川ノ兩岸ニ迫リ中ニ平地ヲ抱
クコトナク地形高峻ニシテ中ニ米良ノ僻地等アリ然レト
モ銀鏡川ノ東部即チ東米良村下穂北村等ニ於テハ地貌稍
異リ高サ一、〇〇〇尺乃至二、〇〇〇尺許ノ連嶺多數近ク並
ヒテ相迫リ其ノ間ニ小支流ヲ挾ミ是等ノ山ノ傾斜急ニシ
テ平地ナク地形錯雜ヲ極メ海岸地方ノ丘陵高臺ニ至リテ
終レリ

下流部ニ於テハ本流及支流三財川ノ沿岸ニ一帶ノ平野
アリ田畑連レリ而シテ其ノ兩邊ニハ高臺丘陵連亘ス。其
ノ本流北部ニアルモノハ茶臼原ノ高臺ニシテ高サ二〇〇
尺許頂部平ニ四周ハ殆ト直立シテ河岸ノ平野ニ臨メリ本
流南部及三財川附近一帶ハ小丘陵連續シ起伏常ナク地形
錯雜ヲ極ム而シテ三財川兩岸ニハ外原及薩摩原ノ高臺ア
リ本流域内ニハ沼湖ナシ

(二)地質 本流域ノ山岳部ハ大部分中生層ニ屬スル砂岩
及粘板岩ヨリ成レリ而シテ江代山、市房山附近ハ一塊ノ花
崗岩ヨリ成リ天包山ヨリ始リ村所ノ下流ニ於テ一瀨川ヲ
横切リ南走スル一ノ石英斑岩脈アリ又椎葉村内大河内ノ
東方ニハ玢岩ヨリ成ル所アリ

合ミ稍長方形ヲナシ北西ヨリ東南ニ延ヒ其ノ長サ一四里
幅六里ニ亘リ面積五三方里アリ

此ノ流域ノ地形ハ中流部以上ト下流部ニ於テ著シク異
リ中流部以上ハ日向山脈ノ南走スル所ニシテ急峻ナル山
岳連亘シ下流部ハ丘陵高臺連レリ。日向山脈ハ宮崎縣北
部ニ於テハ稍明ナル脈ヲナシ一瀨川流域ノ西部及北部ニ
及ヘトモ中部以南ニ於テハ峰巒各所ニ簇立シ山嶺其ノ間
ヲ縱横ニ走り地形錯雜ス

流域ノ西境ニハ宮崎、熊本縣界ニシテ江代山、市房山、牧良
山等ノ高サ五、〇〇〇尺乃至六、〇〇〇尺ノ山岳連リ球磨川、
綾北川等トノ流域ヲ分チ空野山樋口山等ヲ連ヌル一脈ハ
流域ノ北部ヲ西走シ渡川トノ流域ヲ分テリ之ヨリ南流域
ノ中部以南ニ於テハ山ハ一瀨川ノ支流ニ分タレ自ラ數條
トナリ延ヒテ本流ニ臨メリ即チ樋口山ヨリ石堂山、天包山
等ニ至レル一脈ハ小川ト米良川トヲ分チ日平越、赤髮山等
ノ一脈ハ小川ト銀鏡川ヲ分テリ。又西部縣界附近ノ山脈
ヨリ東ニ進ミ西米良、三納、三財ノ三村ノ境界ナル國見山ニ
至ルモノハ本流ノ南方ニアリテ三財川トヲ分チ兒湯郡ト
西諸縣郡トノ境界ナル掃部嶽ニ至ルモノハ更ニ南東ニ延
ヒ綾北川トノ流域ヲ分テリ

海岸地方ニ連亘スル茶臼原等ノ高臺其ノ他ノ丘陵ハ主
トシテ三紀層ノ砂岩泥板岩等ヨリ成リ河岸一帶ノ平地ハ
沖積層ヨリ成レリ

(三)林野狀態 本流域ハ林野狀態ヨリ之ヲ三ノ區域トス
ヘシ。其ノ一ハ國有林ニシテ東北方尾鈴山方面ヨリ來リ
流域ノ中部ヲ横切リ西南大淀川ノ流域ニ及ヒ本流域ニ於
テハ尾八重、二軒橋ヨリ三財川附近上三財ニ至ル線ヨリ東
南下穂北、三納、三財各村内ノ平野ニ至ル迄一帶ノ山間部ヲ
掩ヒ自ラ流域ヲ兩斷セリ。全部濶葉樹ノ自然林ニシテ樫
樺、椎等多ク近時多少伐材セラルト雖老樹鬱蒼トシテ森
林狀態良好ナリ

右國有林ノ西北即チ本流中流以上及銀鏡川、小川、板谷川
流域竝三財川上流部一帶ハ大部分民有林ニシテ濶葉樹林
針澗混淆林多ク其ノ面積相等シク針葉樹林ハ比較的少シ
近來伐材頗ル盛ニシテ銀鏡川流域ノ如キ或ハ椎葉村大河
内附近ノ或部分ノ如キ幼樹叢生シ又ハ草原トナレル所ア
レトモ一般ニ大樹未タ多ク森林狀態良好ナリ。此ノ附近
ニ於テモ村所附近小川沿岸等ニ水田アリ又山腹其ノ他ニ
畑アレト何レモ殆ト謂フニ足ラス

下流部地方即チ前記國有林ノ東南一帶ニ於テハ河畔ノ

平地ハ田畑トナリ附近ノ丘陵高臺ハ畑又ハ山林トナリ耕地面積ハ山林面積ト略相等シク耕地ニ於テハ田畑相半シ山林ニ於テハ上流部ニ於テ潤葉樹多キニ反シ針葉樹林主トシテ人工林ハ約半ヲ占メ状態比較的良好ニ針潤混濶林之ニ亞キ潤葉樹林ハ極メテ少シ

(四)氣象 上流部寒ク年平均氣温一三度許下流部暖ク年平均氣温一六度餘ナリ。雨量ハ河口附近少ク年雨量二、五〇〇耗降雨日數一六〇日許ニシテ中流部ハ稍多ク年雨量約三、〇〇〇耗降雨日數一三〇乃至一六〇日上流部ハ之ヨリ稍多シ。本流域ニ於テ雨量特ニ多キハ三財川流域ニシテ塞川ニ於テ觀測セシ所ニ依レハ本流上流部ニ比シ年雨量凡ソ八〇〇耗許多ク四、〇〇〇耗ヲ超ユルコト屢ナレト降雨日數ハ他ト大差ナク日雨量二〇〇耗ヲ超ユルコト少シ

二、河川ノ狀況

(一)概説 一瀬川水系ハ日向山脈中部諸峰溪谷ノ水ヲ集メテ成レルモノニシテ河口附近ニハ高臺及平地展延スル外ハ流域悉ク急峻ナル山岳連亘セリ而シテ其ノ一脈東西ニ連リ本流竝之ニ屬スル支流ト下流部ニ於テ合流スル支流三財川トノ流域ヲ截然區劃セリ

一瀬川本流ハ高塚山附近ニ源ヲ發シ市房山ノ東ヲ南流

郡上穂北村杉安ヨリ上流ニシテ河カ山岳部ヲ流下スル部分ナリ兩岸ニ急峻ナル山迫リ河幅ハ銀鏡川合流點ノ上ニ於テハ一〇間乃至二〇間餘之ヨリ下ハ一五間乃至三〇間殊ニ杉安附近ハ廣クシテ六〇間許アリ。河岸ハ西米良村所附近ニ砂礫ヨリ成ル所アル外凡テ中生層ノ粘板岩等ヨリ成リ多ク平水面ヨリ二〇尺以上露出ス。河床ハ所々岩盤露出スル所アレト概シテ砂礫轉石ヨリ成ル東米良村松原ヨリ上流ニ於テハ兩岸ニ岩盤屹立スル間ニ稍平ナル所アリ而シテ此ノ間ニ河幅一〇間許更ニ削刻セラレ平水時ノ流路ヲ形作レトモ松原ヨリ下ニ於テハ兩岸ニ高サ五〇尺餘ノ斷崖屹立シテ直ニ水面ニ臨ムコト多シ。本河川ハ急峻ナル山岳ノ間ヲ流下スル割合ニ勾配緩ナリ上下流ヲ通シ瀨ト緩流ト交互ニ在リ勾配一五〇分ノ一乃至一八〇分ノ一ナリ。此ノ間ニアリテモ東米良村瓢箪淵附近ハ激流相次キ勾配急ナルモ松原ヨリ下兩岸ニ斷崖屹立スル部分ハ極メテ緩ニシテ僅ニ二八〇分ノ一許ナリ

第二ノ區間ハ上穂北村杉安ノ下ニシテ河ハ平野ニ出テ河幅廣ク勾配極メテ緩ナリ

板谷川 熊本、宮崎兩縣界ナル牧良山附近ヨリ起リ東流シ村所ニ於テ本流ニ合ス。急峻ナル山岳相迫レル間ヲ流

シ村所ニ於テ西方ヨリ來レル支流板谷川ヲ合セ東轉シ小川及銀鏡川ノ二大支流ヲ吞ミ東南ニ轉シ山間部ヲ出テテヨリ佐土原ニ於テ大支流三財川ト合シ日向灘ニ朝ス。本流ノ南ニハ河ニ近ク山嶺相連レルヲ以テ支流ノ見ルヘキモノナケレト北部ニ於テハ山嶺相並ヒ南北ニ延ヒタルヲ以テ小川、銀鏡川ノ二大支流ヲ始メトシ銀鏡川ノ東部ニ於ケル小支流皆南流シテ本流ニ合セリ

(二)河況

米良川 一瀬川本流最上流部即チ板谷川合流點以上ヲ米良川ト稱ス。市房山、石堂山等ノ高峻ナル山岳相迫レル間ヲ流下ス。河幅一〇間内外河岸ハ中生層ノ粘板岩露出スル所ト砂礫轉石ヨリ成ル所ト相半シ河床ハ主トシテ礫轉石ヨリ成リ河中ニ大ナル轉石散在スル所及岩盤露出スル所多ク殊ニ椎葉村吐野合流點ノ下流ニハ懸崖相迫リ段流相連續シ河況甚タ險難ナル所アリ。河川勾配ハ米良川ニ於テモ上流ヨリ下流ニ行クニ從ヒ緩トナリ上半ハ四〇分ノ一乃至六〇分ノ一下半ハ一〇〇分ノ一乃至一五〇分ノ一ナリ

一瀬川本流 米良川ト板谷川ノ合流シテヨリ河口迄ノ間ヲ一瀬川ト稱シ大體二ノ區間トナスヘシ其ノ一ハ兒湯

下ス。鶴瀨以下ニ於テ河幅十二、三間河床ハ岩盤ヨリ成リ礫轉石多ク勾配六〇分ノ一許ナリ

小川 石堂山ノ東ニ起リ南流シ越野尾ニ於テ本流ニ合流ス。急峻ナル山ノ脚部ヲ洗ヒテ流下ス河岸ハ主トシテ岩盤露出シ河床ニハ礫轉石アリ西米良村古屋敷以下ニ於テハ河幅一〇間内外瀨ト靜流ト交錯シ勾配六〇分ノ一許ナリ

銀鏡川 樋口山ノ東ニ起リ小川ノ東方略之ニ平行シテ南流シ二軒橋ニ於テ本流ニ合ス。急峻ナル山岳迫レル間ヲ流下シ河幅七、八間河床ハ主トシテ粘板岩平水面上約一〇尺露出屹立シ河床ハ礫轉石ヨリ成ル。河川ノ屈曲多クレトモ瀨少ク靜流多ク勾配一〇〇分ノ一許ナリ

三財川 本流ノ南部ニ於テ國見山掃部岳附近ノ急峻ナル山岳附近ノ水ヲ集メテ東流シ河口ヨリ僅々二里許上流ニ於テ本流ニ合スル本水系中最大ノ支流ナリ。本川ハ之ヲ二ノ區間トナスヘシ其ノ一ハ三財村水喰以上ニシテ急峻ナル山岳相迫レル間ヲ流下ス。塞川ノ下ニ於テ一支流

合流ス此ノ合流點ノ上ニ於テハ河幅七、八間河岸ニハ岩盤露出屹立シ河床ニハ轉石多ク勾配四〇分ノ一許ナリ。合流點ノ下ハ河幅一〇間内外河岸ハ岩盤露出シ河床ニ礫轉

石多ク勾配六〇分ノ一許ナリ

第二ノ區間ハ三財村水喰以下ニシテ附近ニ高臺アレト河畔ハ總テ平地ニシテ水田開ケタリ。河幅一〇間乃至二〇間河床河岸砂礫ヨリ成リ勾配緩ニ水流靜穩ナリ

(三)流量 本支流ヲ通シ月平均流量ノ最小ハ十一月十二月、一月中ニ最大ハ六月七月八月ノ間ニ在リ。一年ヲ通シテノ最小ハ十一月ヨリ一月ノ間ニ起リ二月ヨリ次第ニ流

一瀬川流量表 (本省調査)

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流量					流域一方里當流量									
					年次	最大	平水	低水	渇水	最小	最大	平水	低水	渇水	最小				
三二七	一	一瀬川	宮崎縣兒湯郡西米良村村所越	九三三	大正八年 六月 六三〇	大正九年 六月 四七〇	大正十年 六月 八二〇	大正十一年 六月 二二〇	平均 六三〇	一六八〇〇	七二	三〇〇	一三〇	一三〇	七九	二六二	一一五	五五	五三
三二八	七七四	一瀬川	宮崎縣兒湯郡四米良村村所	二六一	大正八年 六月 六三〇	大正九年 六月 五五〇	大正十年 六月 二六〇〇	大正十一年 六月 一三〇〇	平均 一三〇〇	一八、〇〇〇	七二	三〇〇	一三〇	一三〇	七九	二六二	一一五	五五	五三

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流量					流域一方里當流量										
					年次	最大	平水	低水	渇水	最小	最大	平水	低水	渇水	最小					
三一九	一	一瀬川	宮崎縣兒湯郡三財村山	二六六	大正九年 六月 一、五〇〇	大正十年 六月 三、二〇〇	大正十一年 六月 三、七〇〇	平均 三、七〇〇	一、五〇〇	六四三	二六	三〇〇	一六六	一六六	一五三	六〇四	二四六	一〇九	七二	五八
三二〇	一	銀鏡川	宮崎縣兒湯郡東米良村中尾二軒橋	五〇二	大正八年 六月 二、一六〇	大正九年 六月 二、六五〇	大正十年 六月 二、八三〇	大正十一年 六月 一、六九〇	平均 二、一六〇	一、六九〇	九	四四	一四	一四	一六	三三六	一九六	八七	四七	三三

本水系ハ降水量ニ比シ湯水量比較的貧弱ナレト洪水量ハ多ク河川ノ兩岸概シテ屹立セルヲ以テ水位ノ上昇著シク二十三、四尺ニ及フ事アリ洪水ノ害ハ下流部ニアレト上流部ニハ汎濫スヘキ平地ナケレハ極メテ少シ

三、治水及水利

(一)概説 本水系ニ於テハ局部的護岸ノ外治水事業ト稱スヘキモノナシ。本流及板谷川小川、銀鏡川、三財川ノ各支流ニハ大正六年六月二十四日河川法準用認可セラレタリ。舟筏流材ハ多シ漁業モ多少アリ。用水ハ下流部及三財川、三納川ニ多シ。既設發電所ハ小支流岩井谷川ニ一五〇馬力許ノモノ一アルノミ。許可地點ナシ

量増加シ五月下旬ヨリ六月月上旬ハ流量減少シ梅雨ニ入ルヤ頓ニ増加シ六、七、八月ハ概シテ流量多ク洪水屢起リ九月ヨリ次第ニ減少ス梅雨前ニハ流量減少スレト冬季ノ湯水ニ比シ流量多シ。流域面積一方里當ノ流量ハ本流ニ於テハ上流多ク下流ニ赴クニ從ヒ減少ス。又支流ニ於テハ板谷川多ク小川、銀鏡川ハ貧弱ナリ。三財川ニ於テハ實測ノ結果ナケレト本流ヨリハ豊富ナルカ如シ

(二)流材及舟航 流材ノ行ハルルハ本流ニ於テハ最上流椎葉村大河内ヨリ河口迄ニシテ角材ハ上流ヨリ上穂北村山島津迄ハ管流トシ以下ハ筏流トシ板ハ上流ヨリ筏流トス。流材ハ四季行ハレ一年ヲ通シテ角材一〇〇、〇〇〇石板一五〇、〇〇〇坪ヲ流下ス。支流三財川ニ於テモ流材多シ其ノ區域ハ主トシテ三財村福王寺ノ上流ニシテ全部管流一年六、〇〇〇石ヲ流下ス

舟航ハ本流ニ於テハ東米良村廣瓦橋以下ニ多シ主トシテ木炭ヲ搬出ス。之ヨリ上流並銀鏡川ニ於テモ時ニ舟航アレト極メテ少シ

(三)用水 本流上穂北村杉安以上及小川、銀鏡川流域ニ於

テ水田ハ河畔ニ少許宛點在スルニ過キスシテ東西兩米良村合セテ二〇〇町歩ニ足ラス是等ニ使用スル用水ハ溪流ヨリ取ルモノ多ク本流ヨリ取ルモノハ西米良村大字村所附近及大字小川附近ニ點々アレト何レモ小ナルモノナリ。杉安ヨリ下流ニハ水田相連リ用水多シ其ノ主要ナルモノ四灌漑反別合計一六〇〇町歩許ナリ

支流三財川及其ノ小支流三納川畔ニモ水田開ケ用水多シ三財川ニ於テ用水取入口ハ三財村水喰附近ヨリ以下ニ多ク主要ナルモノ一灌漑反別合計六〇〇町歩三納川ニ於テハ主要ナルモノ七灌漑反別合計七五〇町歩許ナリ

(四)漁業 漁業ハ本支流共行ハル。鮎、鰻等ヲ主トシ年産額三〇、〇〇〇圓ニ近シ然レトモ杉安ヨリ上流ニ於テハ其ノ額少ク三、〇〇〇圓許ナリ

四、水力地點

(一)概説 一瀬川水系ニ於テ水力ニ利用シ得ヘキハ本流東米良村捨内附近ヨリ下流及板谷川、米良川並三財川ノ三財村水喰ヨリ上流ナリ。然レトモ本河川ハ山岳相迫レル間ヲ流下スル割合ニ勾配緩ニシテ勾配一〇〇分ノ一以上

一瀬川水系選定地點一覽表

ナルハ米良川上流部板谷川小川三財川等ニ過キスシテ本流中流部ハ一五〇分ノ一内外ノ勾配ヲ有シ加之本河川ハ流量豊富ナラス且本流中流部ニハ縣道通スレト上流部ニ及ハサルヲ以テ水力ニ利用スルヲ得レトモ一般ニ各地點共水力比較的小ニシテ有利ナル水力地點ヲ得ル事難シ。只東米良村黒崎附近ヨリ同村捨内附近迄ハ勾配急ニ水量モ比較的多ク且河川ノ屈曲アレハ稍有利ナル地點ヲ得ヘシ。本水系中ニ既設地點ハ小支流岩井谷川ヲ利用スルモノ一アルノミニシテ他ニ既設若クハ許可ノ地點ナシ

本水系ハ各河川共流材多シ是等ノ幾分ハ陸送ニ變スルヲ得ヘキモ尙近キ將來ニ於テ水力發電所ヲ建設スルトキハ之ニ對シ適當ノ方法ヲ講スルノ要アルヘシ

本水系ニ於ケル水力地點左ノ如シ

一瀬川水系許可地點一覽表

種別	百馬力—五百馬力		合計	
	地點數	馬力數	地點數	馬力數
發電開始	—	一四八	—	一四八
未開始	—	—	—	—
合計	—	一四八	—	一四八

備考 右ノ外發電未開始地點馬力數一三二ノモノ一アリシモ許可失敗トナレリ

地點數	馬		水		低		力		水		平		數	
	以千馬力上	以千馬力下	合計	元調查局地點ニ關係アルモノ	以千馬力上	以千馬力下	合計	元調查局地點ニ關係アルモノ	以千馬力上	以千馬力下	合計	元調查局地點ニ關係アルモノ	以千馬力上	以千馬力下
六	三	九	五	一〇六二	一六六六	三六二五	三三三五	一四七五	三六九四	六六六三	四三三〇七	二八四六七	—	—

一瀬川水系選定水力地點表

水量、落差ニキテ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	水路長	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
一、二六六	米良川	番外一	宮崎縣西臼杵郡椎葉村大河内吐野	同郡椎葉村	湧水 二八 低水 五一 平水 一〇〇	二二五	一、二二七 二、三八七	一、三〇〇	三三三	五七	一、一四〇 一、八六〇	乙
一、二六七	同	一	宮崎縣西臼杵郡椎葉村	同上郡西米良村田出河原	湧水 四三 低水 八〇 平水 一五七	三五〇	一、六七一 三、一〇八 六、〇九九	三〇〇	五六七	五七	一、〇〇〇 一、〇〇〇 四、七六三	乙
一、二六八	同	番外二	宮崎縣兒湯郡西米良村上米良田出河原	同上郡西米良村	湧水 五三 低水 九八 平水 一九一	九〇	九七九 一、九〇八	一、三〇〇	七二七	七二	一〇〇〇 九七 一、四九〇	乙
一、二六九	板谷川	二	宮崎縣兒湯郡西米良村上米良村 宮崎縣兒湯郡西米良村所深瀨	同郡西米良村王村	湧水 九九 低水 一七九 平水 三〇七	一四〇	一、五三八 二、七八二 四、七七七	三〇〇	七九二	七九	一〇〇〇 九四二 三、三三三	乙

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水長路	面積	能發電	年平均馬力數	管線
1170	一瀬川	三	宮崎縣兒湯郡 西米良村 村所	同 西米良郡 西米良村 横野	低水 232 平水 377	九五	2,341 3,975	2,100	13,343	六四三 八〇三	2,104 2,121	乙
1171	同	四	宮崎縣兒湯郡 西米良村 横野	同 西米良郡 西米良村 越野尾	湯水 124 低水 225 平水 414	140	1,927 3,497 6,434	3,000	15,233	六〇六 七六六	1,277 3,310 5,134	乙
1172	同	五	宮崎縣兒湯郡 西米良村 越野尾	同 東米良村 二軒橋	湯水 137 低水 233 平水 503	八五	1,293 2,198 4,746	2,200	10,111	九四三 七五五	1,333 2,045 3,676	丙
1173	同	六	宮崎縣兒湯郡 三納村	同 三納村	湯水 174 低水 283 平水 654	150	2,897 4,712 10,889	2,000	27,144	一〇〇〇 九四四 七六五	2,877 四四八 六,330	甲
1174	三財川	番外三	宮崎縣兒湯郡 三財村 吐	同 三財村 水喰	湯水 * 40 低水 * 71 平水 * 121	* 180	七九九 1,419 2,398	2,000	四,433	一〇〇〇 六四〇 八一三	七九 1,334 1,456	乙

(二) 水力地點ノ説明

順位一、一六六 大河内ノ下吐野合流點ニ取入レ大藪ヨリ來レル支流ノ合流點ノ少シク上ニ放水セントスルモノナリ

水路ハ全部隧道トシ左岸ヲ取ルヘシ。此ノ地點附近ニ

ハ道路ナク地勢峻峻ナレト此ノ上流大河内ニハ熊本縣多良木ヨリ車馬ヲ通スヘシ

順位一、一六七 前地點ノ放水口直下ニ取入レ大藪ヨリ來レル支流ノ水ヲ合セ田出河原ニ放水セントスルモノナリ。水路其ノ他ニ就テハ前地點ニ同シ

順位一、一六八 前地點ノ放水口下ニ取入レ上米良ニ放水スルモノナリ。水路ハ右岸ヲ取リ大部分隧道トスヘシ

順位一、一六九 元調査局地點一、四二八及一、四三二ヲ合セ水路ヲ延長セルモノナリ。前地點ノ放水口下ニ取入レ一方板谷川ヨリ取入レシ水ト合セ板谷川合流點ニ放水セントスルモノナリ。水路ハ大部分隧道トスヘシ。板谷川沿岸ニハ熊本縣方面ヨリ車馬ヲ通スヘキ道路アリ。河川別水量左ノ如シ

種別	米良川	板谷川	合計
湯水量	五九	四〇	九九
低水量	一〇八	七一	一七九
平水量	二二一	九六	三〇七

順位一、一七〇 元調査局地點一、四二九ヲ延長セルモノナリ。村所ノ少シク下流屈曲點ヨリ取入レ横野ノ上ニ放水ス。水路ハ右岸ヲ取リ大部分隧道トスヘシ左岸ニ縣道アリ

順位一、一七一 元調査局地點一、四三〇ヲ延長セルモノナリ。横野ノ上ヨリ取入レ越野尾ニ放水ス水路ハ左岸ヲ取ルヘシ。其ノ他前地點ニ同シ

順位一、一七二 越野尾ノ下ノ屈曲點ヨリ取入レ二軒橋ニ放水スルモノナリ。水路ヲ左岸ニ取ルヘシ其ノ他前地點ニ同シ

順位 一、一七三 元調査局地點一、四三一ヲ少シク變更セルモノニシテ本水系中最有利ナル地點ナリ。水路ハ右岸トシ黒崎ノ對岸ヨリ取入レ捨内ノ對岸ニ放水スヘシ。前揚ノ落差ハ取入口及放水口ニ於ケル平水位ノ高低差ヨリ求メシモノナルモ堰堤ヲ高クシ背水ヲ銀鏡川合流點附近迄及ストキハ更ニ一五尺ノ落差ヲ增加スヘシ而シテ人家田畑道路等浸水ノ虞ナシ。水路ハ大部分隧道トスヘシ對岸ニ縣道アリ。杉安ナル鐵道終點迄四里許ナリ

順位一、一七四 元調査局地點一、四三四ヲ其ノ儘選定セリ。寒川ノ下ノ合流點ヨリ取入レ水喰ニ放水ス。水路ハ大部分隧道トシ右岸ヲ利トスヘシ

第十八章 大淀川水系

一、流域

(一) 地形 大淀川水系ノ流域ハ宮崎縣南部ニ位シ西諸縣、東諸縣、宮崎、北諸縣ノ諸郡及鹿兒島縣噺啖郡ヲ占メ尙微ニ